

病虫害発生予察情報

2 月月報

平成 26 年 3 月 17 日
東京都病虫害防除所

1 気象概況（東京都・東京管区气象台提供）

2014 年 2 月	気 温						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		本年	平年比 (%)	本年	平年比 (%)
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差				
上旬	9.3	-0.5	-0.5	0.3	3.8	-0.6	45.5	345	51.6	85
中旬	7.2	-3.1	-0.7	-0.8	3.3	-1.8	101.5	419	45.8	77
下旬	11.4	0.4	1.2	0.5	6.2	0.5	12.5	73	53.4	108
平均	9.2	-1.1	-0.1	-0.1	4.3	-0.7				
合計							159.5	293	150.8	89

観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

平年差（比）：平年値（1981～2010年の平均値）からの差（比）

< 天候概況 >（千代田区大手町）

気 温：上・中旬は低く、下旬は高かった。

降 水 量：上・下旬は多く、中旬はかなり多かった。

日照時間：上・中旬は少なく、下旬は平年並だった。

上旬：前半と後半に関東の南岸を低気圧が通過したため、天気は数日の周期で変わった。特に、8日はこの低気圧と上空の寒気の影響で東京（大手町）では日最深積雪 27cm の大雪となった。

中旬：前半は本州の南海上や関東沿岸を通過した低気圧の影響で曇や雪または雨の日が多くなった。特に 14 日～15 日にかけては、上空の寒気と低気圧の影響で大雪となり、東京（大手町）では 15 日の日最深積雪が 27cm となった。後半はおおむね冬型の気圧配置となり晴れた日が多くなった。

下旬：高気圧と低気圧や気圧の谷が交互に通過したため、天気は数日の周期で変わった。27 日から 28 日にかけては本州の南岸を東進した低気圧の影響で雨となった。

2 作物生育概況

(1) 野菜類

果菜類：促成トマトや促成イチゴの生育は低温の影響で一部の地域でやや遅れたが、おおむね順調であった。トマト等果菜類の苗の生育も順調である。スイートコーンのトンネル栽培は降雪の影響で生育遅延が懸念される。

葉根菜類：施設のコマツナはおおむね順調であったが、品種によっては抽だいがみられた。露地のコマツナ、ホウレンソウは降雪の影響で、トンネルの支柱が折れたり、つぶれたりし、品質の低下や生育の遅延がみられた。キャベツの育苗畑は降雪の影響はそれほどなかった。ブロッコリーは降雪により葉折れの被害がみられたが、花蕾に

大きな影響はみられなかった。2 月まきのダイコンは降雪の影響で抽だいが懸念される。

3 病害虫の発生概況

(1) 野菜の病害虫

トマト (施設)

灰色かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
葉かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
オンシツコナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
タバココナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

コマツナ (施設)

コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

ホウレンソウ (施設、露地トンネル)

べと病	< 少 >	発生は少なかった。
ケナガコナダニ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

イチゴ (施設)

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(2) 花きの病害虫 (施設)

花き共通の病害虫

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

(3) 島しょの病害虫

島しょ地域では多発生の病害虫は認められなかった。

病害虫防除所ホームページ

<http://www.jpnpn.ne.jp/tokyo>

病害虫の発生予察情報、発生状況、防除方法、
防除のポイントなどをお知らせしています。